# １．2007年度事業報告

## Ⅰ．KEC 2007年度のあらまし

### ◇新たな展開拡がる

2007年度のKECは、アドバイザー派遣系のNPO経営支援の強化、ミッションと採算を両立させられるいくつかの研修事業の実施、共同オフィス「神戸元町NPOポート」事業の充実、そして「ひょうごん福祉ネット」などネットワーク事業の新展開など、これまでのNPO支援の蓄積を基盤にしつつ、新たな展開が拡がった一年でした。

経営支援事業を通じて現場のNPOとよりいっそう密な関係を築き、その経営改善を支援するとともに、その中から見えてくる「NPOを取り巻く社会の課題」について積極的に発信し、かつ働きかけていく。そういうKECの活動スタイルが確立しつつあります。

・アドバイザー派遣系の経営支援とは、個々のNPOの事務所に伺って経営コンサルティングを行うものですが、その中からNPOの経営力を高めるポイントが見えてきますし、同時に、NPO全体が置かれている環境の厳しさが見事に浮き彫りになってきます。３年間続けてきた神戸市の「NPO等育成支援アドバイザー派遣事業」に、今年から「子育てNPOの経営支援と仕組み作り事業」（WAM助成）が加わりました。

・研修事業では、2006年度に続き２年目となる環境NGOへの研修（地球環境基金委託）に加え、国際交流基金日米センター（CGP）との共催で「NPOの自主財源」をテーマとするセミナーを企画しました（実施は新年度の８月）。いずれもNPOのニーズに応え、多くの参加者を集めました。

・NPOの共同オフィス「神戸元町NPOポート」は現在９団体が入居。ほぼ全席・部屋が埋まり、交通至便なNPOの総合拠点となってきています。

・２年越しで立ち上げをサポートしてきた福祉系NPOのネットワーク「ひょうごん福祉ネット」はこの３月に正式発足し、６月に設立記念フォーラム、７月、９月にも続いて大小の学習会と、「公的な制度の外で地域の暮らしを支えるNPO」の力量アップと社会的地位の向上のために活発な活動を続けています。しかもこれは、当事者である現場のNPO自身が、厳しい現状を打開するために力を合わせるという、あくまで「水平の、開かれた、現場からのネットワーク」として展開してきています。そのネットワークの促進剤として、「KECならでは」の大事な役割を果たせたのではないかと思います。

### ◇NPO支援で資金を得、基盤整備とアドボカシーを行うという構造に

実は年度当初は、「NPO支援」よりも「NPOの基盤整備」に重点を置くという方針でした。「NPOへの行政委託のあり方の検証・提言」や「助成金のあり方の検証・提言」などのテーマで資金調達を試みましたがうまくいかず、結果として活動資源がまだしも

得やすい「NPO支援」分野で資源を得、その余力で基盤整備分野の活動を行うという形になりました。

現在のNPOの状況――厳しい活動環境の中、目の前の課題に振り回されて、長期的な展望が持てていないように見えます――を鑑みたとき、NPO活動の基盤・環境整備は大変重要であり、その分野そのもので活動資源が得られないのは残念なことです。ですが、試行錯誤をする中で、KECが強みを持つ「個別NPOへの経営支援」を事業の軸に据え、そこで採算もとりながら、常に現場の課題に触れつつ「社会のしくみ」の変革を試みる、そういう支援のスタイルが定まってきました。

## ◇KECの収入構造――光が見えてきた

NPO支援で収入を得ると言っても、その収入源はNPO自身ではなく助成財団や行政（委託）が大きな割合を占めます。支払い能力のあるNPOだけを対象にすれば、私たちの経営も外部資金に依存せず成り立つのでしょうが、それはKECがそもそも目指したものとは思えません。

確かにNPOの側も、支援に要するコストへの意識が十分あるとは言えませんが、厳しい活動環境の中、立派な活動をしているNPOがほとんどであり、NPOの経営力を高めるとともに活動環境を改善し、NPOセクターが育ってくる中で結果として私たちの支援活動も事業化できてくる、そういうストーリーを描きたいと思います。

当面のKECは、１）NPO支援のうちアドバイザー派遣系の経営支援事業、２）同じく支援のうち講座企画や講師派遣事業、３）NPOポート事業、を収入の３本柱として収支構造の強化を図ります。2007年度は全体としては３期連続の赤字となりましたが、１）と３）が育ってきており、残る２）の柱を立てられれば、収支の黒字化は近いと考えています。

## ◇体制も充実してきました

最後に組織体制ですが、年度当初の常勤３名（KEC２名、みみずく舎１名）が年度末時点で４名（各２名）になりました。KECの３人目がなかなか見つからず苦労しましたが新年度に入り８月から１名を採用、2008年８月時点では常勤５名体制になっています。

常勤職員以外も、長く活動を共にしていただいているボランティアの方に加えて、新しい非常勤スタッフやインターン、ボランティアがこの１年でかなり増えて活況を呈しています。みみずく舎という「現場」を持っている効果も大きいと言えるでしょう。専門的なNPOと市民参加のボランティア団体という両面のバランスは時に難しいこともありますが、いずれもKECの大切な原点であり、その課題にはチャレンジし続けたいと思います。

# Ⅱ．事　業

## 事業一覧

### A）NPO活動を支える仕組みづくり

#### １．調査研究と政策提言事業

（１）NPOの財源に関する調査研究と提言
（２）NPOに関わる制度改正運動（NPO法、税制等）
（３）その他の調査

#### ２．NPOのための資源開発事業

（１）外部資源開発事業

#### ３．情報発信事業

（１）機関誌「みみずく」の発行
（２）メールマガジンの発行
（３）ウェブサイト
（４）FMわぃわぃでの情報発信
（５）サンケイリビング誌上での情報発信

#### ４．ネットワーク事業

（１）ひょうご市民活動協議会（HYOGON）事務局
（２）サロン事業
（３）他団体の役員就任、研究会への参加等

### B）NPO支援

#### ５．NPOの経営支援事業

（１）相談事業
（２）NPO等育成アドバイザー派遣事業・小規模作業所等事業サポーター事業
（３）研修事業
（４）子育てNPOの経営支援と仕組み作り事業

#### ６．NPOへの拠点提供（神戸元町NPOポート運営）事業

#### ７．「みみずく舎」業務受託事業

#### ８．その他の事業

（１）能登半島地震被災地支援事業
（２）会館事業
（３）みみずく書房事業

# Ａ）NPO活動を支える仕組みづくり

## １．調査研究と政策提言

**「NPOへの委託事業」のあり方を巡って、兵庫県とNPOとで作っている「NPOと行政の協働会議」の部会を舞台に、そのあり方の検証を進めました。部会としての具体的な提言や情報発信は新年度、2008年８月以降に持ち越しました。助成金等を得てより積極的な調査研究を行う計画は実施できませんでしたが、「みみずく」誌上等でその内容を伝えました。「協働」の内実が問われてきている現在、重要な問題提起ができたと考えています。**

### （１）NPOの財源に関する調査研究と提言

2007年８月から兵庫県とNPOの協議の場である「NPOと行政の協働会議」に「委託事業のあり方に関する専門部会」が設置され、実吉がメンバーとなった（※）。「協働」の掛け声の一方で、現状では行政からの委託事業がNPOに実質的な赤字事業を強いてNPOからエネルギーを吸い取っているのではないか、という認識を共通の出発点として2008年3月までに７回の会合を持ち、検証と議論を重ねた。

「そもそも委託とは何か」「委託と委任、請負の区別」「委託の現状」「管理費・間接経費が認められにくい」「安い人件費単価」「精算手続きの問題」「補助との違いが不明確」「委託に関する行政職員の意識」「NPOの側の経営力」など議論は充実。愛知県など全国の同様の動きもフォローしつつ、論点の整理が進んだ。「みみずく」でも２３号、２４号でこのテーマを取り上げた。

しかし４月以降、活動が停滞、８月に入ってようやく活動を再開しつつある。

※メンバー：前川裕司（(特活)コムサロン２１＝部会長）、池田啓一（(特活)都市生活コミュニティセンター）荻野俊子（NPO会計支援センター）、鬼頭哲也（兵庫県参画協働課長；2008年3月まで）、実吉威、田中茂（(特活)シーズ加古川）、能島裕介（(特活)ブレーンヒューマニティ）、柳田吉亮（(特活)北播磨市民活動センター）横山佐和子（兵庫県地域協働課長；2008年4月から）　（敬称略）

上記のほか、「委託事業」「助成金」などのテーマでいくつか助成申請を試みたが、結局どの助成金も獲得できず、自主事業としての位置づけにとどまった。　＜担当：実吉＞

### （２）NPOに関わる制度改正運動（NPO法、税制等）

2008年4月16日、超党派の国会議員によるNPO議員連盟（会長＝加藤紘一衆議院議員）の拡大世話人会に実吉事務局長が全国の支援センター関係者とともに出席。NPOをめぐる制度やNPOへの支援、「協働」等について要望と意見交換を行った。参加者は国会議員１０名＋NPO関係者３０名。「NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会」の呼びかけによる。

### （３）その他の調査

**○「NPO共同事務所施設」調査事業（事務局＝関西国際交流団体協議会）**

前年度に続き、「NPOの共同事務所施設のあり方の検証と提言」をテーマとして、全国５つの支援センターのネットワークで調査を進めた。12月の「NPOメッセ」（大阪）と名古屋で、米国からのゲストを交えてフォーラムを行った。成果報告は現在作成中。　　＜担当：実吉＞

（構成団体）(特活)関西国際交流団体協議会（事務局）、(社福)大阪ボランティア協会、(特活)市民活動センター神戸、(特活)市民フォーラム２１・NPOセンター、(特活)せんだい・みやぎNPOセンター

## ２．NPOのための資源開発事業

### （１）外部資源開発事業（日本財団助成事業）

１）専門家やボランティアなどの人的（外部）資源をNPOがどのように活用しているかの実態調査と実際のコーディネート、２）企業による社会貢献やCSR活動の開拓、サポートを行った。

１）については２１団体に電話でインタビューを行い、「NPOの外部資源へのニーズ調査」報告書にまとめた（編集統括＝諏訪理事）。２）は９社を訪問し、うち１社とはその後も継続して同社の社会貢献事業のご相談に乗っている。　　＜担当：１）八十、諏訪、２）実吉＞

・「NPOの外部資源へのニーズ調査」報告書

・「ボランティア×NPO マッチング会」

６月７日、NPO６団体・一般参加者11人、マッチング成立３組

・近畿税理士会との連携（先方の検討待ち）

・「NPOのための会計・労務相談」

会計・労務の２人の専門家の協力を得、４月から定例相談日を設定。

＜会計＞荻野俊子さん（NPO会計支援センター代表）月１回、利用３件

＜労務＞石田信隆さん（NPO労務サポーター；社会保険労務士）月２回、利用１件

## ３．情報発信事業

**『シンプルで軽快かつ定期的な発信』をめざしましたが、「みみずく」は２回発行、ウェブはイベント告知程度にとどまりました（メールマガジンは発行できず）。**

**「みみずく」については諏訪理事を編集長に迎え、発行体制は少しずつ整備されつつあります。**

**ウェブやメール等での情報発信はなお課題として残っています。**

### （１）機関誌「みみずく」の発行

上期１号、下期１号の発行。第２４号からは諏訪編集長の下、主に理事・会員による執筆で発行した。第２３号に掲載した委託事業のあり方についての記事（実吉執筆）は、いくつかのメーリングリ

ストなどにも転載したところ反響があり、みみずく購読層を拡げるのに寄与した。

＜担当：八十、諏訪＝下半期＞

第２３号　9月30日発行、8ページ、3,000部

第２４号　2月20日発行、12ページ、3,000部

### （２）メールマガジンの発行

メールマガジンとしては発行できず。講座情報や企業の放出グッズ情報などを、個別のBccメールで数回発信した。

### （３）ウェブサイト

長年ボランティアで更新作業を担当してくれている山口会員と、ウェブでの情報発信に強い品田・諏訪両会員に参加してもらい、抜本的改訂についての話し合いを９月に行った。そこでの決定事項がまだかなり積み残されており、新展開に至っていない。

### （４）ＦＭわぃわぃでの情報発信

神戸市長田区に拠点を置く「ＦＭわぃわぃ」で次のNPO関連番組を、日比野正会員を中心とするわぃわぃスタッフとともに制作、発信する。

○「恋する！NPO」・・・毎週木曜日午後９時～10時（再放送；日曜日午後４時～）

第２木曜「ゲストコーナー」（実吉）、第１、３、４木曜「NPO徒然草」（八十 or 実吉）

○「ふれてあれこれアイtoアイズ・作業所 crafts カタログ」・・・毎週火曜日午後２時～３時

みみずく舎和気店長が担当、作業所商品を紹介。

※電波のほか、インターネットでも放送を聴くことができる。

→　http://www.tcc117.org/fmyy/internet/index.html

### （５）サンケイリビング誌上での情報発信

神戸市内全域と明石市内の住宅に各戸配布される情報誌「サンケイリビング」で、月１回NPOからの情報発信コーナーがあり、その編集を担当している。KEC会員・HYOGON会員を対象にボランティア募集やイベント告知の場として利用いただいている。　＜担当：山田＞

## ４．ネットワーク事業

**今年度は、ひょうご市民活動協議会（HYOGON）の活動の中で「ひょうごん福祉ネット」設立を支援したことが特筆に値します。分野ごとのNPO間ネットワークの必要性は高いのですが、事務局機能をどこが担うかが常に問題となります。ひょうごん福祉ネットでは、KECが立ち上げ時の事務局を担ったのち、メンバーの中から事務局を担う団体が現れてきたため、そちらに事務局を移譲しました。引き続き同ネットワークには積極的に関わり続けていきます。**

## （１）ひょうご市民活動協議会（HYOGON）事務局

今年度も事務局を継続受託。交流サロン「HYOGONカフェ」や今年で２年目の「賀詞交換会」のほか、2006年９月から情報交換会を進めてきた「ひょうごん福祉ネット」が３月に正式発足、その立ち上げ支援にも力を入れた。　＜担当：実吉＞

### ＜ひょうごん福祉ネット＞

「介護保険の枠外サービス」の強化を中心テーマとして活動。2008年３月11日、HYOGONの分科会から正式に独立した。2008年度の助成金（トヨタ財団､80万円）も獲得し、６月８日の設立記念フォーラムをはじめ、学習会の開催や共同パンフレット企画など、活発な活動を開始している。

KECはこのネットワークに立ち上げから関わり、当初は事務局を務めた。2007年８月から2008年２月までは「NPOアドバイザー派遣事業」（神戸市委託；5-(2)参照）を活用、そのアドバイザーとして実吉が関わった。

３月の正式発足以降は(特活)市民サポートセンター明石に事務局を移し、それを側面から支援する形を取っている。KECが主導するのではなく、枠外サービスを行っているNPO自身が中心メンバーとなる「水平の、開かれた、現場からのネットワーク」を志向。ネットワークの促進剤としての役割を果たしてきた。

（活動内容）

〇月例会

〇設立記念フォーラム・講演会「地域に必要なもう一つの公共・NPO」
（地域福祉サポートちた代表理事・松下典子氏、2008/6/8）

〇共同パンフレット制作

熱心な参加者を集めた
設立記念フォーラム

（構成団体）

【神戸市】(特活)ケアット、(特活)神戸障害者自立支援福祉協会、(特活)ＣＯＭ総合福祉研究所、(特活)市民活動センター神戸、(特活)東灘地域助け合いネットワーク、(特活)ひょうご・まち・くらし研究所、(特活)福祉ネット星が丘
(特活)福祉ネットワーク西須磨だんらん、(特活)ゆいまーる神戸、(特活)リーフグリーン、わくわく神戸

【明石市】(特活)市民サポートセンター明石　【三木市】(特活)アイアイネット

【西宮市】(特活)都市生活コミュニティセンター　【川西市】(特活)さわやか北摂

【淡路市】(特活)淡路島ファミリーサポートセンターまあるく　（このほか、個人会員５名、賛助会員６名）

（役員）

| | | |
|---|---|---|
| 代表 | 日埜昭子 | (特活)福祉ネットワーク西須磨だんらん 理事・事務局長 |
| 副代表 | 田坂美代子（事務局長） | (特活)市民サポートセンター明石 代表理事 |
| | 村山メイ子（広報） | (特活)東灘地域助け合いネットワーク 理事長 |
| | 吉本加津子（会計） | (特活)リーフグリーン 理事長 |
| 監事 | 山口一史 | (特活)ひょうご・まち・くらし研究所 常務理事　（敬称略） |

## （２）サロン事業

企業提供の文房具を希望するNPOに配布するのを機会に、７月に暑気払いと称して小さな集まりをもった。これ以降、主催事業としてはHYOGONが充実しているのでそちらに譲る。

７月２１日　参加者２４名　みみずく舎にて

## （３）他団体の役員就任、研究会への参加等

実吉事務局長が、下記の役員、委員等を務めた。

〇特定非営利活動法人 日本NPOセンター　理事（任期＝'06年6月～'08年6月、'08年6月～'10年6月）

〇ひょうご市民活動協議会　運営委員・事務局長（任期＝'07年6月～'08年6月、'08年6月～'09年6月）

〇ひょうごんテック　運営委員（任期＝'07年6月～'08年5月；'08年5月の総会で運営委員会を解散）

〇兵庫県長期ビジョン推進委員会委員（任期＝'07年10月～'09年3月）

〇神戸市・神戸市民円卓会議（'07年8月～　）

## Ｂ）NPO支援

### ５．NPOの経営支援事業

今年度、この領域では大きな進展がありました。これまでのNPOの経営相談には力を入れてきましたが、今年度はそれを、受け身で相談に乗るものを曜日限定するなどして縮小し（（１））、それで浮いた時間を、支援を積極的に求める団体への重点的サポートに集中しました（（２）（４））。

（２）（４）いずれでも、運営上の課題とその解決策の整理、経営ノウハウのアドバイス、中長期の展望づくりのお手伝い等を行い、いい活動をしているNPOが今後よりいっそう経営力を高め、社会にきちんと支持され活動を継続していけるための展望づくりに貢献しました。

この活動の中から見えてくるのはやはりNPOの活動基盤の脆弱さです。NPO自身の経営力強化をサポートし続けるのと並行して、環境整備の重要性を訴え続けなければいけません。これらの事業はそのための大切な実例ともなっています。

今後の課題としては、このような経営支援の内容を、当事者以外にも分かるよう説明・発信していくことが必要です。

（３）研修事業は、短期間ながら内容の濃い事業を２種実施しました。しかし「学び支援事業」（講師派遣）は今年度は件数・金額ともに昨年度を下回り、内容・営業の両方が課題となっています。

#### （１）相談事業

１（１）の中で「NPOのための会計・労務相談」を定例化するなど、新規に定例相談日を設定したほか、予約制を掲げたことでアポなし・無料の相談は減った。以前から継続のアドバイザー派遣事業とそのバリエーション（後述(2)、(4)）により、一過性でない、対症療法的でない相談、継続的で団体の深部にある課題解決のための相談事業が徐々に実現されてきており、手応えあるものになってきた。これに伴い、単発の相談事業は縮小傾向で、それが適正規模と考える。　　＜担当：八十＞

○「NPOワンコイン相談」（毎週水曜）：利用１２件

（うち、何らかの形で継続したもの４件）

○ひょうごボランタリープラザ（HVP）法人化相談（月１回、４コマ）

2004年10月から受託してきたが、当初の週４コマから徐々に相談頻度が低下（2007年４月からは月４コマ）、また相談件数そのものも減少してきていたため、2008年４月から隔月４コマにさらに減る提案となったのを機に、辞退した。

実施：４コマ　　相談担当：今田理事、実吉、八十

○その他有料相談（助成金申請など）

法人化相談、会計相談、助成金申請相談などの専門相談や、アドバイザー派遣事業の期間超過部分の有料対応、など計２０件

## （２）NPO等育成アドバイザー派遣事業・小規模作業所等事業サポーター事業

**（いずれも神戸市委託、事務局＝(特活)神戸まちづくり研究所）**

神戸市の独自事業に衣替えして３年度目、緊急雇用対策事業時代から数えて７年度目にして初めて、実吉がアドバイザーに就任した。公募ではあったがすでに信頼関係のある、KECとしてぜひ支援したい団体を担当することができ、注力した。08年４月からのWAM事業でのこの形式での支援拡大につながった。

実吉アドバイザー：こどもコミュニティケア（神戸市西区；8回）、(特活)ぴっぴ（神戸市西区；9回）、ひょうごん福祉ネット（6回）

八十アドバイザー：W・Sひょうご（神戸市；6回）、(特活)福祉ネット星が丘（神戸市垂水区；7回）

中田スーパーバイザー：ケース検討に参加

一方、同様のしくみで小規模作業所等への派遣事業が神戸市保健福祉局障害福祉部障害福祉課からも委託され、おもに自立支援法移行にまつわる組織化や商品開発についてアドバイスを行った。

八十サポーター：小規模作業所夢ふうせん（神戸市中央区；4回）、個性の作業所七つの海（神戸市須磨区；4回）、ワークホーム須磨／兵庫（神戸市須磨区；2回）

和気サポーター：(特活)ゆとり（神戸市垂水区；3回）

実吉サポーター：担当なし、ケース検討に参加　　＜担当：八十、実吉＞

## （３）研修事業

### ○環境保全協働コーディネーター養成講座（(独法)環境再生保全機構・地球環境基金委託）

「環境系NGOと行政・企業等との協働のコーディネーター養成」をテーマとする研修事業を受託・実施した。講義、ワークショップを交え、環境系NGO以外のNPOからの参加も多く、高い満足度を得た。　＜担当：実吉＞

開　催：2007年10月20・21日、のべ11時間。兵庫県私学会館（神戸市中央区）にて。

参加者：のべ２３名（２日間通し参加１６名）

ゲスト：上田敏幸さん（(財)公害地域再生センター＜あおぞら財団＞研究員）
山田実さん（(特活)菜の花プロジェクトネットワーク副代表・事務局長）
鬼頭哲也さん（兵庫県地域協働局参画協働課長）

グループごとに特色の出たワークショップ

厳しい意見も出、白熱した質疑応答

### ○「NPOの自主財源を強化する７つの方法」セミナー
**（国際交流基金日米センター（CGP）との共催）**

CGPの「NPOフェローシップ」（米国へのNPOスタッフ派遣制度）経験者による帰国報告会を上記のテーマで開催（本年度中は企画・交渉など、実施は８月２日）。今年度で終了した派遣制度の「帰国報告会」であったが、地域のNPOのニーズに合う講座に仕立てた結果、定員を上回る参加を得、参加者満足度も高かった。　＜担当：実吉＞

※開　催：2008年8月2日、あすてっぷKOBE（神戸市中央区）にて

参加者：５６名（定員５０名）

講　師：岩附由香さん(特活)ACE代表理事

鈴木歩さん　(特活)シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ・ﾃﾞｨﾚｸﾀｰ

### ○講師派遣（学び支援）事業

講師派遣　１０件　（中田理事長１件、実吉７件、八十２件）　計８７６，２３２円

研修受入　　７件　　計１３８，２５４円

## （４）子育てNPOの経営支援と仕組み作り事業（WAM・KECアドバイザー派遣事業）
**（福祉医療機構（WAM）助成事業）**

子育て系を中心として、福祉分野で「制度外のサービスを担う」NPOに対する出張型経営支援を行い、かつそのような支援のあり方についても検証するとともに、個々の団体の経営努力を超えるNPOを取り巻く「構造」について検証、提言を行う。

数団体を対象とする予定が、公募の結果８団体から応募があり、そのすべてにアドバイザーを派遣することとなった。派遣期間は2008年６月～11月（予定）、その後、支援内容の検証を行い、2009年２月に報告会を開催する。　＜担当：実吉＞

（派遣先団体）

今田アドバイザー：(特活)ぴっぴ（神戸市西区；予定6回）、(特活)淡路島ファミリーサポートセンターまあるく（淡路市；予定6回）、(特活)はらっぱ（西宮市；予定6回）

実吉アドバイザー：(特活)こどもコミュニティケア（神戸市須磨区；予定4回）、(特活)リーフグリーン（神戸市長田区；予定6回）

八十アドバイザー：W･Sひょうご（神戸市灘区；予定2回）、(特活)女性と子ども支援センターウィメンズネットこうべ（神戸市須磨区；予定2回）

東末アドバイザー：(特活)ウィズネイチャー（神戸市長田区；予定3～4回）

（研究会メンバー）

今田忠（KEC理事）、江口聡（(特活)しみん基金･KOBE）、荻野俊子（NPO会計支援センター）、実吉威、東末真紀（(特活)神戸まちづくり研究所）、八十庸子

## ６．NPOへの拠点提供（神戸元町NPOポート運営）事業

計９団体（年度末現在）が入居するNPOの総合拠点となってきた。

今年度、「１デスク」スペースへの入居が拡大して空室率は約６％（面積比）まで縮小、事業としてもようやく採算がとれるようになってきた。

【2008年６月末現在入居状況】

（１部屋）兵庫県学童保育連絡協議会・神戸市学童保育連絡会、(特活)緑の森自然キャンプ協会

（１区画）チャイルドライン神戸推進委員会

（１デスク）(特活)エコレンジャー、大阪市立大学都市研究プラザ、(特活)和太鼓教育研究会
(特活)パソコンを弾く研究会

（シェアデスク）(特活)DEFC

※退去団体；(特活)メコンウォッチ（～'08年5月）、音楽サークル・オノポッド（'07年12月～'08年4月）

スペースの一部をKECが使用することにしたため、空きはデスク１、シェアデスク１～２。

また、郵便物の受け入れ・預かりのみの「郵便箱サービス」を'06年12月から開始。年度末現在で下記団体に利用していただいている。

(特活)女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ

インパクト関西

| | | ～6月 | 07/7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 08/1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月～ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一室 | 学童 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | 緑の森 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | ﾁｬｲﾙﾄﾞﾗｲﾝ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 一デスク | ﾒｺﾝｳｫｯﾁ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | | |
| | ｴｺﾚﾝｼﾞｬｰ | | | | | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | 大阪市大 | | | | | | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | 和太鼓 | | | | | | | | | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | ﾊﾟｿｺﾝ研 | | | | | | | | | | | ■ | ■ | ■ | ■ |
| シェア | DEFC | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | ｵﾉﾎﾟｯﾄﾞ | | | | | | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | | | |

※KECホームページ（http://www.kobekec.net）上で入居団体をご紹介しています。

賑やかになってきた
神戸元町NPOポート

## ７．「みみずく舎」業務受託事業

有限会社みみずく舎からその運営業務一切をKECが受託、スタッフ（すべてKEC職員）人件費ほか必要経費を委託費として回収している。

独立採算の実現に向けて、店長・和気克子を中心に改装や品揃え増、助成金獲得や専門家の助言を受けるなど、さまざまな努力を行っているが、採算ラインまではあと一歩。2008年４月から店長以外に常勤スタッフを１名採用し、体制を充実させ、いっそうの売上増に努めている。

また、本年度、みみずく舎事業に関連して下記２種類の助成を受け、「販売という支援」を充実させることができた。

〇日本財団（2007.4～2008.3；51万円）

取引先であるフェアトレード団体や作業所に対し、店頭でのお客様の声を伝えたり他団体との交流の機会を設けたりすることで、商品改善や新商品開発に役立てていただいた。

〇中央共同募金会（災害ボランティア活動支援プロジェクト会議；2007.9～継続中；30万円）

2007年3月に発生した能登半島地震の被災地支援の一環として、“Buy能登キャンペーン”を実施、遠隔地にいてもできる「買い物」という支援を神戸の市民に提供した。ささやかではあるが、売上の１０％＋店頭寄付、４４，４９２円を、社会福祉法人輪島市社会福祉協議会門前支部に寄付した。

※みみずく舎ホームページ（http://www.mimizuku.cc/）上で取引先・支援先団体をご紹介しています。

看板も一新したみみずく舎

## ８．その他の事業

### （１）能登半島地震被災地支援事業

みみずく舎で2007年３月から、“Buy能登キャンペーン”と銘打って、能登半島地震で被害を受けた地域の産品を販売し、現地へのサポートとした。（上記７参照）

### （２）会館事業（印刷機、プロジェクター等貸出）

NPO向けに印刷機、プロジェクター、スクリーンなどを有料貸し出し。

機械の調子があまりよくないことから、積極的には広報せず。

### （３）みみずく書房事業

NPO関連書籍の販売。本年度のおもな売上は『NPOのためのアドボカシー読本』『人間性未来論』『日本のNPO史』『助成金ガイド2007』など。

# Ⅲ．組織

## １．会員

（正会員）　期首時点５４名　→　期末６５名
　１４名増、３名減で純増は１１名。

（賛助／利用／購読会員）

| | 2006年度末 | 2007年度末（うち新規） |
|---|---|---|
| 賛助／個人 | １４ | **４６名**　（４） |
| 賛助／団体 | ６ | **２０団体**　（１） |
| 利用／個人 | ４ | **５名**　（１） |
| 利用／団体 | １４ | **１１団体**　（１） |
| 購読 | ３７ | **１６名／団体**（２） |
| 計 | ７５ | **９８名／団体**（９） |

※目標＝賛助・利用会員あわせて１５０人・団体。

「みみずく」発行に伴い、会員数は徐々に回復してきているが、目標は未達。日常的な情報発信と会員継続のお願いが十分ではなかった。とくに団体会員（賛助・利用合わせて３１団体）はもう少し伸ばしたかった。

なお、購読会員は「みみずく」が年２回程度のペースとなっていることから新規に募集せず、「賛助」「利用」での入会、継続をお願いしている。

## ２．役員・理事会

定時総会（2007年９月２日開催）で、役員全員任期満了につき改選を行い、前期からの役員全員が再任、新たに３名が理事に就任した。

（新役員体制）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 理事長 | 中田　豊一 | 理　事 | 実吉　威 | 監　事 | 飛田　雄一 |
| 副理事長 | 森田　博一 | 理　事 | 磯辺（東方）康子 | 監　事 | 宮崎　洋彰 |
| 理　事 | 渥美　公秀 | 理　事 | 早瀬　昇 | 理　事 | 雨森　孝悦（新任） |
| 理　事 | 今田　忠 | 理　事 | 松原　明 | 理　事 | 諏訪　晃一（新任） |
| 理　事 | 桑原　英文 | 理　事 | 八十　庸子 | 理　事 | 山下　淳（新任） |

（理事会開催実績）

第33回理事会　2007年4月12日　出席理事10名（うち委任状4名）
第34回理事会　2007年6月27日　出席理事7名（うち委任状2名）
第35回理事会　2007年8月9日　出席理事8名（うち委任状3名）　※ここまで定数10名
第36回理事会　2007年9月2日　出席理事8名（選任直後のため委任状による出席なし）※ここから定数13名
第37回理事会　2007年10月29日　出席理事10名（うち委任状2名）
第38回理事会　2008年1月29日　出席理事10名（うち委任状2名）
第39回理事会　2008年5月27日　出席理事12名（うち委任状7名）

## ３．事務局

＜スタッフ体制、ボランティア、インターン＞

KEC（事務所側）常勤２名（実吉、八十）、みみずく舎（店舗側）常勤１名（和気）と、非常勤の店舗スタッフ１名（狩野、３月まで）を中心とし、とくに店舗側には有償・無償のボランティアが加わって週６日営業のシフトを敷いた。2008年４月に店舗側２人目の常勤（中原）を採用し、同月以降、週７日営業が可能となった。山崎、山田の２人の有償ボランティアがフレキシブルに事務所と店舗の両方を担当、常勤だけでは動きがとれなくなるのを助けてくれている。店舗側には近藤もボランティアとして定期的に参加し、デザイン関係で力を発揮してくれている。

また、インターンとして興津（事務所側、'07年12月～）、上村（店舗側、'08年2～4月）、櫻井（店舗側、'08年5月～；甲南女子大学）を受け入れた。

事務所側の常勤スタッフを４月から探したがなかなかかなわず、ようやく新年度、８月から藤田を採用した。

| | KEC | 兼任 | みみずく舎 |
|---|---|---|---|
| 常勤スタッフ | 実吉威（事務局長）<br>八十庸子 | | 和気克子（店長）<br>中原寿子（'08年4月～） |
| 非常勤スタッフ | 山田裕美（～'07年11月） | | 狩野育子（～'08年2月） |
| 事務局ボランティア | | 山崎ゆり<br>山田裕美 | 近藤仁美（'08年2月～） |
| インターン | 興津慶（'07年12月～） | | 上村めぐみ（'08年2～4月）<br>櫻井亜莉沙（'08年5月～） |

（敬称略）

## ４．謝辞

**多くの皆さまのご支援で今年も活動をすることができました。**
**心より感謝申し上げます。ありがとうございました。**

（ボランティア）

ウェブサイト制作、「みみずく」デザイン等について、下記の方々のご支援をいただきました。ここに記して感謝いたします。

○ウェブサイト／KEC・みみずく舎とも・・・山口真司正会員、品田房子正会員（諏訪理事）
○「みみずく」デザイン・・・宮崎悦子さん、松本まゆみさん
○事務所のＩＴ環境・・・緒方和也さん（ひょうごんテック）

**【追悼】**
**2008年6月20日、ＫＥＣに長くボランティアとして関わってくださっていた佐々木康哲さんが亡くなられました（享年５３歳）。ＫＥＣの前身、「震災・活動記録室」の名付けの親でもあり、会員ではありませんでしたがＫＥＣにつかず離れず、絶妙の立ち位置で見守り、叱咤激励し続けてくださいました。佐々木さんは「被災者生活再建支援法」の立法運動にも被災されたおっちゃん、おばちゃんらとともに（常にそのうしろでサポートする形で）関わり、その成立に大きく貢献されたほか、東海水害やトルコ大地震に際しても、常に被災者に寄り添う姿勢で、息の長い関わりをしてこられました。ここに謹んで、佐々木さんのご冥福をお祈り申し上げます。**

※以下いずれも、2007年7月1日～2008年6月30日分。敬称を略させていただきます。
　なお、個人の方々については、掲載許可のご意思を確認できなかったため、お名前の掲載を見送りました。ご了承ください。

（寄付者）(特活)てみずの会、電通古本市の会、個人２８名

（助　成）中央共同募金会、日本財団、福祉医療機構（WAM）

（物品ご寄贈他）秋毎株式会社、エム・エヌ・ケー株式会社、大阪ガス株式会社、株式会社大塚商会
ギャラリー島田、三井住友海上火災保険株式会社

（賛助会員／個人）４９名

（賛助会員／団体）(特活)淡路島ファミリーサポートセンターまあるく
(特活)茨城NPOセンター･コモンズ、NGO自敬寺、NPO労務サポーター・石田信隆
(特活)神戸コダーイ芸術教育研究所、(特活)Ｇネット
(特活)静岡県東部パレット市民活動ネットワーク、(特活)拓人こうべ
(特活)男女共同参画ネット尼崎、(特活)てみずの会、(特活)日本障害者スポーツ射撃連盟
(特活)汎太平洋フォーラム、(特活)ひょうごセルフヘルプ支援センター
(特活)ひょうご・まち・くらし研究所、(特活)フェミニストカウンセリング神戸
(特活)福祉ネットワーク西須磨だんらん、(特活)ポプリ、(特活)マザーズサポーター協会
みなと元町タウン協議会、(特活)メリーポピンズの会

（利用会員／個人）５名

（利用会員／団体）インパクト関西、神戸フリースクール、(特活)古代遺跡研究所
(特活)市民サポートセンター明石
(特活)女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ、(特活)しらゆり会
(特活)信親、Ｗ・Ｓひょうご、(特活)知的障害児・者療育サポートセンターくれよん
(特活)つなぐ／自立生活センターリングリング、(特活)ニィティ